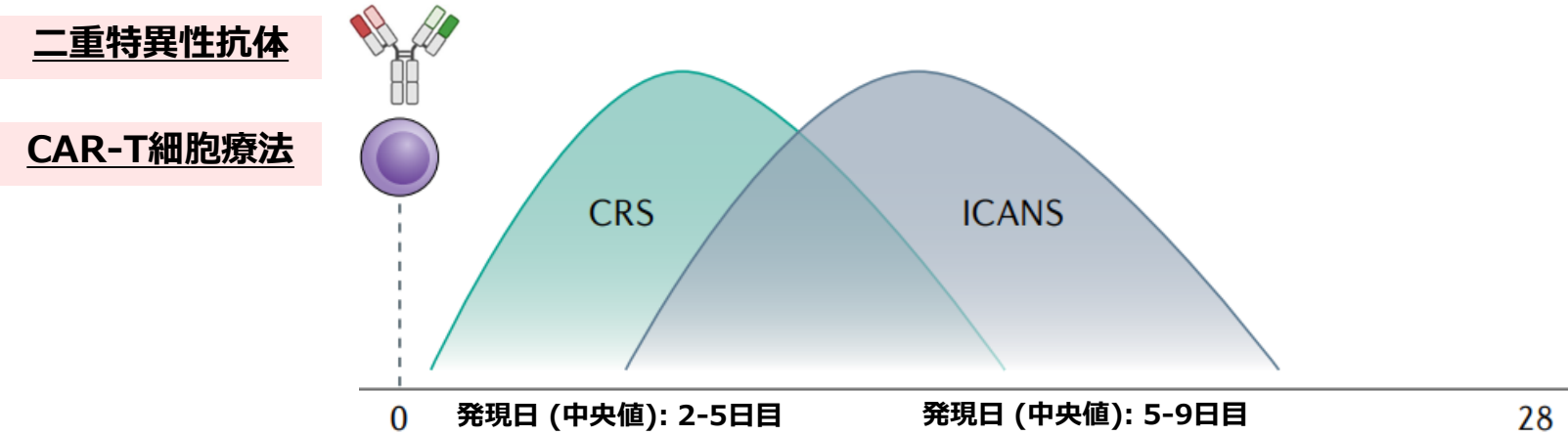
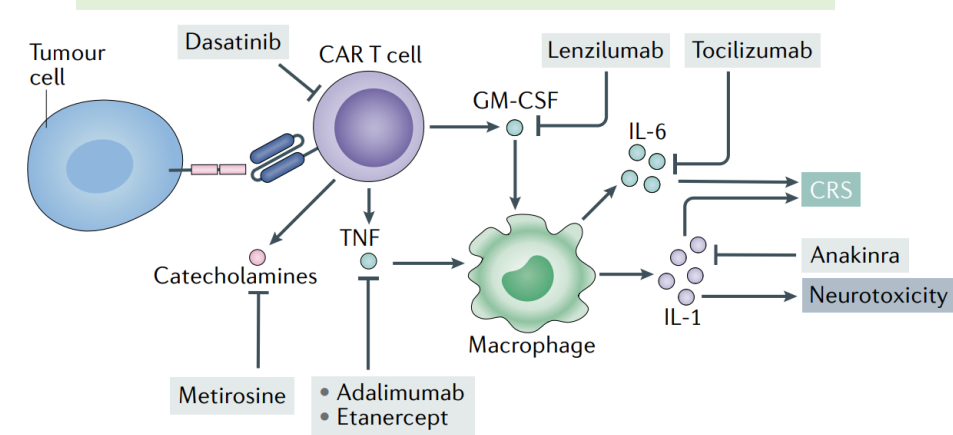


T細胞療法の有害事象モニタリング

T細胞療法は、患者自身のT細胞を利用してがん細胞を攻撃する免疫療法で、二重特異性抗体やCAR-T細胞療法がある。T細胞療法には従来のがん化学療法では認めなかった代表的な有害事象としてサイトカイン放出症候群(CRS)や免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群(ICANS)がある。

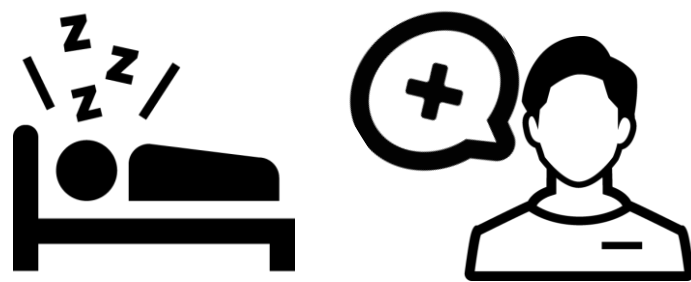


サイトカイン放出症候群



発熱、浮腫、低血圧、低酸素症、頻脈
重症化: 臓器障害、凝固異常

免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群



意識障害、錯乱、失語症、運動機能障害、傾眠
重症化: 痙攣、昏睡

ASTCTコンセンサスGrade判定基準

	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	Grade 5
発熱※1	≥38.0℃	≥38.0℃	≥38.0℃	≥38.0℃	死亡
低血圧	なし	昇圧剤を必要としない	1種類の昇圧剤(バソプレシン併用可)を必要とする	2種類以上の昇圧剤(バソプレシンを除く)を必要とする	
低酸素症	なし	低流量(≤6L/分)経鼻酸素又は吹き流し(blow-by)を必要とする	高流量(>6L/分)経鼻酸素、フェイスマスク、非再呼吸マスク又はベンチュリマスクを必要とする	陽圧換気(例: CPAP、BiPAP、挿管、及び機械的換気)を必要とする	

免疫エフェクター細胞関連脳症(ICE)スコア

	点数
現在の年、現在の月、現在お住まいの都市、病院名を言える	4点(各1点)
物の名前を3つ言える (例: 時計、ペン、ボタンなど)	3点(各1点)
簡単な指示に従える (例: 指を2本立ててください)	1点
標準的な文章を書くことができる (例: 今日は晴れです、など)	1点
100から10ずつ引き算ができる	1点
満点	10点

<スコアの分類>

- ・ 7～9点 : Grade 1
 - ・ 3～6点 : Grade 2
 - ・ 0～2点 : Grade 3
- 意識レベルが低く評価ができない場合は0点 : Grade 4

サイトカイン放出症候群(CRS)や免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群(ICANS)が疑われる場合、病院への連絡・受診を勧奨してください。

Cassanello G, et al. Oncoimmunology. 2024 Mar 3;13(1):2321648
Morris EC, et al. Nat Rev Immunol. 2022 Feb;22(2):85-96.
Lee DW, et al. Biol Blood Marrow Transplant. 2019 Apr;25(4):625-638.